

自殺対策計画進捗確認シート(重点施策)

計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	再掲	令和4年度実施状況	取組状況 ア 実施済 イ 実施中 ウ 準備中 エ 未実施 オ その他から選択してください。 (その他の場合、その状況を「実施状況」欄に記入してください)	達成度(%) 達成で入力してください。数値での判定が難しい場合空欄でかまいません。	令和5年度の実施計画	令和5年度実施状況	令和5年度実施状況に関する担当課の評価	取組状況 ア 実施済 イ 実施中 ウ 準備中 エ 未実施 オ その他から選択してください。 (その他の場合、その状況を「実施状況」欄に記入してください)	達成度(%) 整数で入力してください。数値での判定が難しい場合空欄でかまいません。	今後(令和6年度以降)の実施計画
例：重点施策1 高齢者への対策														
地域ネットワーク友愛事業	見守りが必要な65歳以上の単身高齢者や障害者の希望者に、民生委員・児童委員とボランティアが協働して、安否の確認や生活上の孤立を解消し、地域の絆を築きます。	38	福祉部	社会福祉協議会		友愛通信は、予定通り年間2回(暑中見舞い・寒中見舞い)実施した。市内小学4年生による敬老ポスター特選作品を入れたハガキに、温かみがあるという感謝の声を多く頂戴した。友愛電話は、月1～2回の来電により、単身高齢者の孤独解消を図った。また、中止となった交流会の代わりに「もしも」通信を発行し、紙面での交流を図り、利用者に喜んでいただいた。友愛訪問は、令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者宅への訪問活動に代え、電話による安否確認を行った。交流会は今年度も実施できなかったが、友愛電話で発行していた「もしも通信」と同様、「もしも通信訪問編」を発行し、利用者に喜んでいただ	ア 実施済	100%	令和6年4月より、友愛対象者を「65歳以上の単身高齢者・障がい者」に加え、以前より市民ニーズの高かった「日中独居の高齢者」と「高齢者世帯のみで介護」も拡大する予定である。そのため、対応するボランティアの育成に注力していく必要がある。また、コロナ禍で中止していた「交流会」については、利用者に希望調査を行ったところ、高齢のため遠出をするより地域のサロンで満足しているという声も多く、実施を中止することとなった。そのため、引き続き「もしも通信」の発行を行うと共に、利用者宅ボランティアの交流の場として熊本市友愛電話のLINE公式アカウントを開発し、月に1回情報を配信していく予定である。	友愛通信は、予定通り年間2回(暑中見舞い・寒中見舞い)実施した。市内小学4年生による敬老ポスター・コンクール特選作品を入れたハガキを送付したところ、「温かみがある」という感謝の声を多く頂戴した。友愛電話は、月1～2回の来電により、単身高齢者の孤独解消を図った。また、コロナ禍で開催できなかった交流会を廃止し、LINE公式アカウントによる情報発信や「もしも通信」を発行し、紙面での交流を図り、利用者に喜んでいただいた。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、利用者宅への訪問活動に代え、電話による安否確認を行った。交流会は今年度も実施できなかったが、友愛電話で発行していた「もしも通信」と同様、「もしも通信訪問編」を発行し、利用者に喜んでいただ	利用者はもちろんのこと、ボランティアも高齢化が進んでいる中、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、できる限りの対応をした。特に友愛電話や、利用者宅への訪問ができない期間に行った訪問ボランティアによる電話での安否確認は、コロナ禍における単身高齢者の孤独解消として一翼を担ったと考えている。	ア 実施済	100%	継続
高齢者等の見守り	民生委員・児童委員が単身高齢者や要援護高齢者宅に訪問し、心配のある高齢者がいた場合は、適切な相談窓口につなぎます。	39	福祉部	長寿いきがい課		民生委員協議会等において、民生委員による単身高齢者宅や要援護高齢者宅の定期的な訪問と見守りを依頼しました。	ア 実施済	100%	民生委員協議会等において、民生委員による単身高齢者宅や要援護高齢者宅の定期的な訪問と見守りを依頼しました。	民生委員協議会等において、民生委員による単身高齢者宅や要援護高齢者宅の定期的な訪問と見守りを依頼しました。	ア 実施済	100%	民生委員協議会等において、民生委員による単身高齢者宅や要援護高齢者宅の定期的な訪問と見守りを依頼しました。	
あんしんコールの活用	あんしんコールを利用している高齢者等の通報状況などから、問題の早期発見や適切な機関へのつなぎ等を図ります。	39	福祉部	長寿いきがい課		あんしんコールを利用している高齢者等の通報状況などから、問題の早期発見や適切な機関へのつなぎ等を図りました。	ア 実施済	100%	ひとり暮らしの高齢者の方の緊急時に迅速に対応し、その他にも健康相談や見守り活動を行う機器装置(携帯型ボタン・本体)を設置し安心な暮らしの手助けをします。	あんしんコールを利用している高齢者等の通報状況などから、問題の早期発見や適切な機関へのつなぎ等を図りました。	ア 実施済	100%	概ね順調に推移している。	
高齢者の権利擁護に関する相談	高齢者の権利擁護に関する相談を通じて、自殺リスクの高い方の早期発見と対応に努めます。	39	福祉部	長寿いきがい課		市長申立を3件を行いました。	ア 実施済	100%	重度の認知症等により判断力のかけ、申立を行う親族のいない高齢者にかわり、市長が申立を行い高齢者の権利を保護しました。	重度の認知症等により判断力のかけ、申立を行う親族のいない高齢者にかわり、市長が申立を行い高齢者の権利を保護しました。	ア 実施済	100%	市長申立をすることで、高齢者の権利保護に寄与しました。	
地域の各種団体の自主活動支援	自治会、長寿クラブ、婦人会などの各種団体が行う、地域の高齢者が安心して暮らしていくことができるための自主的な活動を支援していきます。	39	福祉部	長寿いきがい課		各長寿クラブに補助金を交付しました。補助金交付クラブ数：115クラブ	ア 実施済	100%	各長寿クラブに補助金を交付し、その活動を支援することで、地域の高齢者の自主的な活動を支援していきます。	各長寿クラブに補助金を交付しました。補助金交付クラブ数：109クラブ	ア 実施済	100%	長寿クラブに補助金を交付したことで、地域の高齢者の自主的な活動を支援してきました。	
地域包括支援センター	地域包括支援センターは、高齢者や家族の介護及び福祉に関する様々な問題に対し、積極的に支援していきます。	39	福祉部	長寿いきがい課	●	地域にお住いの高齢の方やそのご家族、地域住民の介護や福祉などについての様々な総合相談窓口として、安心して生活するための支援を行いました。	ア 実施済	100%	地域にお住いの高齢の方やそのご家族、地域住民の介護や福祉などについての様々な総合相談窓口として、安心して生活するための支援を行います。	地域にお住いの高齢の方やそのご家族、地域住民の介護や福祉などについての様々な総合相談窓口として、安心して生活するための支援を行います。	ア 実施済	100%	概ね順調に推移している。高齢化に伴い、地域包括支援センターの相談件数の増加傾向にある。相談内容も多岐にわたっている。	
大里広域地域包括支援センター熊谷市連絡会議	大里広域地域包括支援センター熊谷市連絡会議で、自殺に関する熊谷市の状況や施策について情報提供を行います。	39	福祉部	長寿いきがい課		WEB会議にて8回情報交換会を行いました。	ア 実施済	100%	月に1度、WEB会議にて市内8か所の地域包括支援センターと情報交換等を行います。	月に1度、WEB会議にて市内8所の地域包括支援センターと情報交換等を行った。	ア 実施済	100%	概ね順調に推移している。WEB会議の内容を見ても、事業実施に向けての市からの依頼が増え、情報交換の時間の割合が少なくなっている。新型コロナウイルス感染症の流行に配慮しながら、対面での開催を検討する。	
認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座を開催し、地域の認知症への理解を深め、認知症の方やそのご家族を支える地域づくりを推進します。	40	福祉部	長寿いきがい課		令和4年度末で熊谷市内の認知症サポーターは28回開催しており27,146人となっています。	ア 実施済	100%	認知症の方やそのご家族を温かく見守る「認知症サポーター」を養成する「認知症サポーター養成講座を開催し、地域の認知症への理解を深め、認知症の方やそのご家族を支える地域づくりを推進しています。	令和5年度末で熊谷市内の認知症サポーターは29回開催しており28,488人となっています。	ア 実施済	100%	新型コロナウイルスの影響も少なく概ね順調に推移している。小中学校での開催についても予定どおり開催することができた。	
長寿健診がん検診等の受診勧奨	長寿健診やがん検診等の受診勧奨を行います。	40	市民部	保険年金課・熊谷保健センター		5月下旬に健診対象者あてに、事業実施のお知らせと受診券を発送し、長寿健診やがん検診等の受診勧奨を行った。	ア 実施済	100%	6月1日からの長寿健診事業開始に間に合うよう、健診対象者あてに長寿健診受診券を発送し、受診勧奨を行った。(保険年金課)	6月1日からの長寿健診事業開始に間に合うよう、健診対象者あてに長寿健診受診券を発送し、受診勧奨を行った。(熊谷保健センター)	ア 実施済	100%	新型コロナウイルス感染症の影響により受診状況が左右され、健診受診率も低迷していたが、令和5年度以降は平常化しつつあるため、受診率も徐々に回復していくと考えられる。(保険年金課)	
各種健康教室	健康増進を図るため、各種健康教室を開催します。また、健康面で心配のある高齢者からの相談に応じます。必要に応じて関係課・関係機関等と連携を図りながら支援を行います。	40	市民部	熊谷保健センター	●	各種健康教室を通して必要に応じて、個別支援を行った。	ア 実施済	100%	各種健康教室を通して必要に応じて、個別支援を行う。	各種健康教室を通して必要に応じて、個別支援を行った。	ア 実施済	100%	健康教室等に対応したケースは無かったが、今後も必要に応じて対応をしていく。	
こころの健康・ひきこもり相談	こころの健康・ひきこもり相談で、認知機能低下、ひきこもり等が心配な高齢者の相談に応じ、助言・指導を行います。必要に応じて関係課・関係機関等と連携を図りながら支援を行います。	40	市民部	熊谷保健センター	●	臨床心理士によるこころの健康・ひきこもり相談を開催した。実施回数：30回、利用者数：56人 ケースの検討会を実施した。	ア 実施済	100%	臨床心理士によるこころの健康・ひきこもり相談を実施した。実施回数：30回、利用者数：64人 来所できない方に対し電話による相談を実施。ケースの検討会を実施した。	臨床心理士によるこころの健康・ひきこもり相談を開催した。実施回数：30回、利用者数：64人 来所できない方に対し電話による相談を実施。ケースの検討会を実施した。	ア 実施済	100%	ひきこもり相談が増え、来所が難しい方に電話相談を実施したことで、利用者が増加した。ケース検討会を行うことで、保健師のスキルアップにつながった。	
介護予防体操「ニャおざね元気体操」の普及	介護予防体操「ニャおざね元気体操」の普及を推進し、高齢者の健康づくりや社会参加・地域づくりを推進します。	40	福祉部	長寿いきがい課		ニャおざね元気体操の指導者を育成する養成講座は、令和3年度実施できなかった分の講座とコース開催し、38名の指導者が生み出された。ニャおざね元気体操を実施する会場は、新たに11か所立ち上がり、その内の1か所がサロンへ移行しました。令和4年度末には市内の通いの場は54箇所となりました。	ア 実施済	100%	養成講座を開催し、地域のニャおざね元気体操の指導者を増やします。ニャおざね元気体操を実施する通いの場を増やし、高齢者の健康づくりや社会参加、地域づくりを推進します。	養成講座を開催し、地域のニャおざね元気体操の指導者は54人増えた。新規の通いの場が、10箇所増えた。新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受け、活動を休止していた通いの場に対し、理学療法士を派遣し体力測定とニャおざね元気体操の動きの確認を行った。	順調に推移している。ニャおざね元気体操を実施する通いの場の理学療法士の派遣は50回、53人派遣された。R4年度は26回、26人の派遣に対して約2倍となった。	ア 実施済	100%	養成講座を開催し、地域のニャおざね元気体操の指導者を増やします。ニャおざね元気体操を実施する通いの場を増やし、高齢者の健康づくりや社会参加、地域づくりを推進します。
シルバー人材センター推進事業	働く意欲のある高齢者の就労を通じ、その豊かな経験や能力を活かした生きがいづくりや社会参加に寄与するシルバー人材センターを支援します。	40	産業振興部	企業活動支援課		シルバー人材センターへ事業費を補助した。また、シルバー人材センターへの入会説明会開催記事を市報へ掲載した。	ア 実施済	100%	シルバー人材センターへ事業費を補助する。また、シルバー人材センターへの入会説明会開催記事を市報へ掲載した。	シルバー人材センターへ事業費を補助する。また、シルバー人材センターへの入会説明会開催記事を市報へ掲載した。	ア 実施済	100%	市報を通して市民へ周知できた。	
例：重点施策2 生活困窮者への対策														
生活困窮者自立相談支援事業	自立相談支援員が、生活の困りごとや不安を抱えている市民の相談窓口となり、必要に応じて、具体的なプランを作成し、関係機関と連携を図りながら支援を行います。	41	福祉部	福祉総務課		自立相談支援員が、生活の困りごとや不安を抱えている市民の相談窓口となり、必要に応じて、具体的なプランを作成し、関係機関と連携を図りながら支援を行った。	ア 実施済	100%	自立相談支援員が、生活の困りごとや不安を抱えている市民の相談窓口となり、必要に応じて、具体的なプランを作成し、関係機関と連携を図りながら支援を行った。	自立相談支援員が、生活の困りごとや不安を抱えている市民の相談窓口となり、必要に応じて、具体的なプランを作成し、関係機関と連携を図りながら支援を行った。	ア 実施済	100%	相談内容に応じた関係機関と連携し、相談者に寄り添った支援を行うことができた。	
住居確保給付金	職難などにより住居を失った方又は失うおそれの高い方を対象に、原則3か月間、家賃相当額を支給するとともに、就労支援等を行い、住居と就労機会の確保を支援します。	41	福祉部	福祉総務課		職難などにより住居を失った方又は失うおそれの高い方を対象に、原則3か月間、家賃相当額を支給するとともに、就労支援を行い、住居と就労機会の確保を支援した。	ア 実施済	100%	職難などにより住居を失った方又は失うおそれの高い方を対象に、原則3か月間、家賃相当額を支給するとともに、就労支援等を行い、住居と就労機会の確保を支援した。	職難などにより住居を失った方又は失うおそれの高い方を対象に、原則3か月間、家賃相当額を支給するとともに、就労支援等を行い、住居と就労機会の確保を支援した。	ア 実施済	100%	就職活動を支援しつつ、様々な相談に応じることで、受給者の自立を促した。	
生活保護支給事務	生活保護の扶助受給等の機会を通じて当事者や家庭の問題状況を把握し、必要に応じて適切な支援先につなぎます。	42	福祉部	生活福祉課		生活保護の扶助支給および訪問調査時において、当事者や家庭の問題状況を把握し、適切な支援先へつなげた。また、扶養義務者との関係状況を把握し、適切な支援を受けられるよう助言した。	ア 実施済	100%	生活保護の扶助支給および訪問調査時において、当事者や家庭の問題状況を把握し、適切な支援先へつなげた。また、扶養義務者との関係状況を把握し、適切な支援を受けられるよう助言した。	生活保護の扶助支給および訪問調査時において、当事者や家庭の問題状況を把握し、適切な支援先へつなげた。また、扶養義務者との関係状況を把握し、適切な支援を受けられるよう助言した。	ア 実施済	100%	各担当ケースワーカーが特に精神的に不安定なケースに対しては、時間をかけて丁寧な聞き取り、必要対応を行った。	
生活困窮者自立相談支援事業とこころの相談の連携	生活困窮者自立相談支援を利用する方に、生きるための支援に関する関係機関を周知するとともに、こころの相談事業と連携を図ります。	42	福祉部・市民部	福祉総務課・熊谷保健センター		生活困窮者自立相談支援を利用する方に、生きるための支援に関する関係機関を周知するとともに、こころの相談事業と連携を図った。こころの健康・ひきこもり相談事業で生活困窮者を把握した際は、生活困窮者自立相談相談にのび、支援した。	ア 実施済	100%	生活困窮者自立相談支援を利用する方に、生きるための支援に関する関係機関を周知するとともに、こころの相談事業と連携を図ります。	生活困窮者自立相談支援を利用する方に、生きるための支援に関する関係機関を周知するとともに、こころの相談事業と連携を図ります。	ア 実施済	100%	関係機関と連携を密にし、相談者に対し適切な支援を行うことができた。	
ハローワークとの連携	生活保護受給者や生活困窮者の相談を受ける中で、ハローワークと連携して就労支援します。	42	福祉部	福祉総務課・生活福祉課・ハローワーク熊谷		生活保護受給者や生活困窮者の相談を受ける中で、ハローワークと連携して就労支援を行った。	ア 実施済	100%	生活保護受給者や生活困窮者の相談を受ける中で、ハローワークと連携して就労支援を行った。	生活保護受給者や生活困窮者の相談を受ける中で、ハローワークと連携して就労支援を行った。	ア 実施済	100%	ハローワークと連携し、相談者の希望する職探しの後押しをすることにより繋がった。	
社会福祉協議会との連携	既存の制度では対応しきれない制度の狭間にあるケースや、生活困窮等の新たな福祉課題に対応するため、社会福祉協議会と連携し、必要な相談支援や経済的な支援を行います。	42	福祉部	福祉総務課・社会福祉協議会		生活困窮者等からの相談に対し、社会福祉協議会と情報交換をして、生活福祉貸付制度の活用など生活困窮者等への経済的自立に向けた取組を行った。	ア 実施済	100%	既存の制度では対応しきれない制度のはざまの問題や、生活困窮等の新たな福祉課題に対応するため、社会福祉協議会と連携し、必要な相談支援や経済的な支援を行います。	生活困窮者等からの相談に対し、社会福祉協議会と情報交換をして、生活福祉貸付制度の活用など生活困窮者等への経済的自立に向けた取組を行った。	相談者個々の状況に合わせて、適切な支援制度を案内することで、自立を促すことができた。	ア 実施済	100%	既存の制度では対応しきれない制度のはざまの問題や、生活困窮等の新たな福祉課題に対応するため、社会福祉協議会と連携し、必要な相談支援や経済的な支援を行います。
例：重点施策3 小規模事業所の労働者及び経営者への対策														
市報を活用した啓発	過重労働や長時間労働に関する諸問題の対応を行う機関を市報に掲載します。	43	産業振興部	企業活動支援課		労働に関する諸問題の対応を行う機関を市報に掲載した。	ア 実施済	100%	労働に関する諸問題の対応を行う機関を市報に掲載する。	労働に関する諸問題の対応を行う機関を市報に掲載した。	ア 実施済	100%	市報を通して市民へ周知できた。	
公益通報受付・相談窓口の設置	労働者が安心して公益通報したり、相談したりする窓口を設置します。	43	産業振興部	企業活動支援課		労働者が公益通報をしたり相談できる窓口を設置した。	ア 実施済	100%	労働者が公益通報をしたり相談できる窓口を設置する。	労働者が公益通報をしたり相談できる窓口を設置した。	ア 実施済	100%	消費者庁の自治体向けガイドラインを基に要綱を作成した。	
中小企業融資あっせん事業	融資の相談を受ける中で、経営者や従業員の健康等の情報をキャッチし、適切な支援先につなげられる体制を整えた。	43	産業振興部	企業活動支援課		融資の相談を受ける中で、経営者や従業員の健康等の情報をキャッチし、適切な支援先につなげられる体制を整えた。	ア 実施済	100%	融資の相談を受ける中で、経営者や従業員の健康等の情報をキャッチし、適切な支援先につなげられる体制を整えた。	融資の相談を受ける中で、経営者や従業員の健康等の情報をキャッチし、適切な支援先につなげられる体制を整えた。	ア 実施済	100%	具体的な事業はなかったが、取組を継続する必要がある。	
商工会議所、商工会との連携	経営上の様々な課題に関して、各種専門家に相談できる機会を提供することで、経営者の問題状況を把握し、その他の問題も含めて支援につなげられる体制を整えた。	44	産業振興部	商業観光課・商工会議所・商工会		経営上の様々な課題に関して、各種専門家に相談できる機会を提供することで、経営者の問題状況を把握し、その他の問題も含めて支援につなげられる体制を整えた。	ア 実施済	100%	経営上の様々な課題に関して、各種専門家に相談できる機会を提供することで、経営者の問題状況を把握し、その他の問題も含めて支援につなげられる体制を整えた。	経営上の様々な課題に関して、各種専門家に相談できる機会を提供することで、経営者の問題状況を把握し、その他の問題も含めて支援につなげられる体制を整えた。	ア 実施済	100%	引き続き、取組を継続する必要がある。	
大里地域勤労者福祉サービスセンターとの連携	大里地域勤労者福祉サービスセンターと連携し、中小企業の従業員に生きるための支援の情報を提供できる体制を整えた。	44	産業振興部	企業活動支援課・大里地域勤労者福祉サービスセンター		大里地域勤労者福祉サービスセンターと連携し、中小企業の従業員に生きるための支援の情報を提供できる体制を整えた。	ア 実施済	100%	大里地域勤労者福祉サービスセンターと連携し、中小企業の従業員に生きるための支援の情報を提供できる体制を整えた。	大里地域勤労者福祉サービスセンターと連携し、中小企業の従業員に生きるための支援の情報を提供できる体制を整えた。	ア 実施済	100%	広報誌、ホームページ及び業務推進員の訪問により、会員に情報提供している。	
小規模事業所の健康管理支援	熊谷地域産業保健センターでは、50人未満の小規模事業所からの健康管理に関する相談や指導等の依頼に応じており、その一環として、メンタルヘルスに関する相談や指導等の依頼にも応じます。	44	市民部	熊谷地域産業保健センター(熊谷市医師会)		小規模事業所からの健康管理に関する相談に応じました。	ア 実施済	100%	熊谷地域産業保健センターでは、50人未満の小規模事業所からの健康管理に関する相談や指導等の依頼に応じており、その一環として、メンタルヘルスに関する相談や指導等の依頼にも応じます。	熊谷地域産業保健センターでは、50人未満の小規模事業所からの健康管理に関する相談や指導等の依頼に応じており、その一環として、メンタルヘルスに関する相談や指導等の依頼にも応じます。	ア 実施済	100%	引き続き、関係機関と連携を図り、小規模事業所の労働者及び経営者の精神的負担の軽減に努めます。	